令和７年９月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和７年８月２５日（月）
２．開 催 日 時　令和７年９月１９日（金）　１５時００分～１６時５５分
３．開 催 場 所　専売ビル　８階　会議室１
４．理 事 総 数　２３人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１４人（本人出席１４人）
７．出席監事数　３人（本人出席　３人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、川村 道夫、安室 篤志、二瓶　啓、上島　健、田村 大輔、岩本 将和、横山 聡洋、竹内 博次、秦　研二、後藤 章洋

９．出席監事の氏名

熊木　宏、北田 智也、山口 直延

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、嶋崎理事長が議長となり開会を宣し、ただちに議事に入った。

第１号議案　新年賀詞交歓会［令和８年１月２０日（火）］について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、令和８年１月２０日（火）［レベル２１東京會舘］開催予定の新年賀詞交歓会について資料に基づき説明があった。

① スケジュールとしては、午前中に正副理事長会、午後１３時～理事会、１４時２０分～賛助会員 PR 会、１５時２０分～講演会を実施予定。講演会後は会場レイアウト変更のため一時退出を挟み、１７時から懇親会を開始、１９時閉会予定。

② 講演会については、昨年に引き続き東京都中小企業団体中央会の「団体連携型 DX 人材育成推進事業」（最大２５万円まで2/3を助成する事業）を活用して、講師謝金と会場借り上げ費について助成を受ける予定。テーマは、「生成 AI の活用（仮題）」として、総務委員会主催で１月は講演形式として、２月は実習形式の「パソコン実習形式の生成 AI 講習会」として参加者が自分の PC で AI を操作体験する内容の二段構えで検討中。

③ 懇親会については、来賓として関東経済産業局、東京都、日本熱処理技術協会を予定。東京都中小企業団体中央会については、講演会で挨拶をお願いする予定。

嶋崎議長は、新年賀詞交歓会について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　（一社）日本金属熱処理工業会：外国人技能実習制度について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、一般社団法人日本金属熱処理工業会で取組んでいる外国人技能実習制度の評価試験の申込状況について報告があった。主な内容は以下の通り。

① 令和５年１０月に技能実習制度の評価機関として認定を受け、令和６年より本格的に評価試験を開始。令和７年度は実質２年目。現時点で１５社が５３名の評価試験の申込があり、７社は試験終了済み。残り８社については、試験日程が決定済みまたは調整中。東部地区では、４社の申込があり、１１月（２社）と２月に評価試験実施予定で、現在１社１月の試験について調整中。

② 実習生２名に対して試験監督者１名の派遣が必要。試験監督者の選定は、企業所在地に近い人を優先しているが、交通事情を考慮して調整している。

③ 来年以降は、初級合格者の専門級受検が見込まれ、初級・専門級ともに試験数が増加する見通し。

嶋崎議長から、外国人技能実習制度は、今後令和９年に「育成就労」制度へ移行する可能性があり、制度の性質が移民受け入れに近づく流れであり、業界として足並みを揃える必要があるのではないかと意見が述べられた。

田村理事から、来年度は、試験数も増加見込みを考えると試験監督者の重複対応が多く、負担軽減のため、東部独自で増員・講習会の検討を提案があった。

嶋崎議長から、（一社）日本金属熱処理工業会では講習会等の取り組みがあるが、東部独自の体制はないので、委員会にとらわれず、横断的な人材育成の枠組みを検討する必要があると述べられた。

横山理事から、東部の試験監督者のリストを基に試験監督者を選定しているが、自身は大宮から東北方面へ移動しやすいため担当が重複していることの報告があった。試験監督者には、評価試験の約１か月前にオンラインで講習を実施しているが、ノギス測定の所作は伝わりづらいと説明があった。

田村理事から、オンライン講習だけでなく、事前講習会を開催した方が良いと提案があった。

安室専務理事から、各エリア別に候補者リストを管理しており、評価試験申込企業に近い人材を選定しているが、交通事情や負担を考慮し、効率的な人選を行っていることの説明があった。横山理事は大宮から移動しやすいため今回も依頼することになったと説明があった。

嶋崎議長は、外国人技能実習制度について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、活動状況について報告があった。

１０月２９日（水）、３０日（木）開催の「組合まつり in YOKYO」について説明があった。主な内容は、次の通り。①２８日に午後に搬入・設営、２９日・３０日開催、終了後１７時から撤去。運営体制：午前４名、午後３名体制。昨年同様の時間割で実施予定、現在メンバーに協力要請中。②展示品についても前回同様に和鋼博物館から日本刀（模擬刀）と玉鋼等を、組合員企業から映像と熱処理サンプル品を借用すること。（協力企業：

浅川熱処理㈱、㈱オーネックス、第一熱処理工業㈱、ハイテック精工㈱、松山技研㈱、㈱丸菱電子）映像の使用について、関係役員の了承を得る。③新しい試みとして、熱処理体験（ピアノ線の焼入れ・焼戻し済みサンプルを触って熱処理を体験してもらう）。田村理事がピアノ線の試作を担当。④熱処理クイズは昨年同様に実施する。（参加者に「うまい棒」配布）⑤費用に対しては、未確定の部分があるが、予算２０万円に対して昨年同等１２万円程度の経費で収まる見込みであること。

続いて、「出前授業」について説明があった。主な内容は、次の通り。①昨年12月：東京都立多摩工科高等学校で1年生対象に実施。山田部会長が、今年も１２月に開催予定（日程調整中、水曜日候補）。②千葉県立千葉工業高校について（課題研究で熱処理をテーマに選定している。横山理事が先方から送ってきた組織写真について解説を返信し、担当の先生の返事待ち。２年生への出前授業実施に結び付けたい。③青年部会メンバーの地元高校とのインターンシップを出前授業に結びつけたいと考えている。④出前授業のスライドデータを見直し中。

最後に今年度第２回青年部会を令和７年１２月５日（金）に対面開催し、終了後に懇親会を行う予定。

田村理事から、東京都立六郷工科高校でインターンシップを通じて出前授業PRを実施したことの報告があり、出前授業拡大に取り組んでいることの説明があった。

嶋崎議長から、いろんな形で裾野を広げて、人材確保に結びつけて行き、業界認知度を高めたいと述べられた。

嶋崎議長から、熱処理体験のサンプルについては、写真や動画で補足できれば来場者に伝わりやすいのではないかと意見があった。

田村理事から、ピアノ線サンプル８０本（焼入れ４０本＋焼戻し４０本）を実験炉で一括作成し、組織写真や動画を展示に活用予定していることの説明があった。

横山理事から、会場に来て欲しい旨述べられた。

嶋崎議長から、青年部会の活動状況について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から８月２０日に開催された令和７年度第２回BCP 推進 WG について報告があった。主な内容としては、次の通り。①参加企業数が２社活動辞退で１８社になった。理由は、「担当者一人で社内業務と両立困難」。②メンバーへの BCP のアンケート結果について（多くの企業が BCP 策定済みだが、BCM 活動は判断が企業ごとに異なり回答がまちまち。項目提示により「自社の見直しができた」との声あり。）③初動対応について（前サブリーダーの高崎氏作成のフローチャートを基に精査。WG 内用について見直し版を提示して、意見を集める予定。年内に模擬訓練実施を検討。）④次回、第３回は、１１月２８日（金）東京ビッグサイトで開催し、「東京そなエリア」で防災体験を予定。

玉木副理事長から、フローチャートは完成度高くことと「設備リスト」の作成を進めており、代替生産・部品貸与の範囲を整理したいと考えていることの説明があった。次に２０１９年に浸水被害を受けた西部組合の國友熱工㈱の視察を行うので、WG で報告したいことも説明があった。

嶋崎議長から、２社の離脱は残念なことと難しくしすぎず、まずは「シンプルに始める」べきことと最近、BCP の範囲が感染症・サイバーセキュリティ等拡大しているので、優先

順位を定め最低ラインを確保することが必要と意見があった。

玉木副理事長から、BCP 策定自体は容易だが「運用」に企業が二の足を踏んでいることと離脱した２社は元々参加頻度が低く理解が進まなかったことの説明があり、ツールやエビデンス提供だけでは理解が難しく、繰り返し WG に参加して理解が深まると考えていると述べられた。

田村理事から、京浜島の工場で集中豪雨による逆流被害があったことの報告があった。メンバーをグループ化し、モーター等の融通を検討すべきと提案があった。

嶋崎議長から、線状降水帯など新たな水害リスクが増加していて、設備水没は致命的になってしまうので、地震・火災だけでなく水害・新しい脅威を BCP に組み込む必要があると述べられた。

川村副理事長から、自社の水災について、油水分離槽で排水処理を実施したことと基準値クリアで流せたが、産廃費用が高額になったことの説明があった。認定の関係もあるが、取引先が代替を認めるかどうかが重要だと述べられた。

嶋崎議長から、各社の事例を参考にし、現実的な BCP 対応を進めるべきで、WG 活動を立て直し、今後の展開に活かすよう意見があった。

続いて安室専務理事から、９月５日開催の第２回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、次のとおり。①２月のセミナーの内容について（委員からテーマの提案（メンタルヘルス、省人化・自動化、SDGs、カーボンニュートラル、AI 活用、熱中症対策、サイバーセキュリティ）があり、検討した結果、生成 AI 活用（ChatGPT 等） をテーマに決定し、東京都中小企業中央会の DX 支援事業（２５万円限度で2/3次補助、組合1/3負担）を活用予定。１月２０日新年賀詞交歓会で AI の概要説明、２月に PC 持参で実践セミナー）、②組合員アンケートについて（７月の理事会での理事長提案でアンケート実施を検討。アンケートだけでは参加可否の対応が難しため、委員会規程（平成１６年制定）の見直しが必要と判断。次回以降、委員会規程の見直しを議題に入れることになる。）、③（一社）日本金属熱処理工業会 総務委員会での BCP の取り上げについて（渡辺会長から「自然災害（線状降水帯等）への団体対応が必要」との意見があり、１０月の理事会で正式に議題化される見込み。東部としても BCP 推進 WG の活動状況を総務委員会で共有する方向）、④外国人技能実習制度の状況報告を実施

田村理事から、委員会の委員増員には賛成、組合ホームページに活動写真を掲載すれば雰囲気が伝わりやすいのではないかと意見があった。

熊木監事（総務委員長）から、ホームページに写真を増やす案には賛成、アンケートについては、文字量が多すぎないよう説明を簡潔にする必要があると述べられた。

玉木副理事長から、アンケートの文言は難しく、各委員会の活動内容が伝わりにくいので、ホームページで詳細情報を掲載する必要があると述べられた。過去に写真掲載案があったが、コンプライアンスや容量問題で中止された経緯あったことの説明があり、詳しい実績情報を載せる方向が望ましいと意見があった。

続いて９月１０日に開催された技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、次の通り。①「初級熱処理塾」について（参加７社１１名、対面５名、オンライン６名、スポット受講、延べ３５名、９月２５日から週２日木・金で５週、会場：機械振興会館・製粉会館、②事業報告及び計画について（ISO 内部監査員養成研修会については、１１月１１，１２日 ISO９００１、２５，２６日 ISO１４００１、ハイブリッド開催、工場見学会については、１１月１４日、日光金属㈱、第９回品質活動発表会は、テーマ：１．設備温度管理、２．熱処理不良の調査・対策、３．金属断面組織

観察・測定機器講座、次回までに再検討、実践型熱処理塾については、テーマ未定、次回までに決定予定、中級熱処理塾については、7月１９日ハイブリッド開催受講者１４名（対面１０名、オンライン４名）、③東京都の金属熱処理技能検定試験報告、④外国人技能実習制度評価試験報告（評価試験の実績が少ないので、情報共有する仕組みを提案。）
委員会終了後に東京都立産業技術センターと対面で業種別交流会を開催し、施設見学と意見交換を行った。

田村理事から、初級熱処理塾のスポット受講が良いと意見があった。

横山理事から、受講者が予想以上に集まった。

嶋崎議長から、初めての試みとして意義あり。意見集約を進めるよう指示があった。

続いて、安室専務理事から、９月１２日開催のマーケティング委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、次のとおり。①９月９日開催の（一社）日本金属熱処理工業会マーケティング委員会報告（田村副委員長より情報交換内容を報告）、②第８回価格交渉サポートセミナーについて（テーマ：１．来年１月１日施行の下請法内容、２．自動車産業の動向、講師：関東経済産業局 製造産業課 澤良宜課長、適正取引推進課 永島係長、各テーマ３０～４０分、質疑応答含め２～３時間予定。会場：ビジョンセンター田町、ハイブリッド開催、会場費用約４万円について理事会承認後、本申込予定）、③購入品価格調査について（８月末締切。回答率が東部・中部・西部とも低調。３４品目中１４品目（約７割）が単価上昇、平成２１年開始以来、３３品目が値上がり、東部は電気・ガス単価が高く、中部・西部は安い。高騰率は低いが単価は高止まり。集計結果を来週組合員・委員に配信予定。）、④売上高調査について（例年通り実施予定、回収締切：１１月２８日、目標回答率：最低５０％、目標６０％、今月中に工業会から案内予定。）、⑤市場動向に関する情報交換について、⑥次回委員会：１１月１８日 Web 開催

嶋崎議長から、市場動向の情報を自社のマーケティング活動の参考にして欲しいと述べられた。

安室専務理事から、第８回価格交渉サポートセミナーの会場費用の承認について確認があり、全員了承した。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第５号議案　報告事項その他について

安室専務理事から、１０月２日、３日開催の第４４回日熱会（西部組合幹事）の参加者等について報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、曽根副理事長より閉会を告げ散会した。

令和７年９月１９日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　　嶋崎 利行　　㊞

出席理事　　曽根 光彰　　㊞

出席理事　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　二瓶　啓　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　岩本 将和　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　北田 智也　㊞

〃　山口 直延　㊞